

## 令和8年度 前期学校評価の結果について

7月に実施致しました「学校評価アンケート（前期）」へのご協力、ありがとうございました。

毎年、学校と家庭が互いに高め合い、それぞれの立場から子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、年に2回、保護者の方々に学校評価アンケートにご協力いただいています。

本校は京都市の「令和8年度 学校教育の重点」における「重視する視点」に基づき、学校教育目標に「心豊かに たくましく 自ら学び 自ら律する 花園の子」を掲げ、日々教育活動に取り組んでいます。今年も「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の大きく3つの項目についてご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

今年度は、アンケート実施時の在校児児童数 198 に対して、81%と高い割合でご回答いただきました。お忙しいなか、ご協力いただきありがとうございました。

みなさまからいただいた貴重なご意見とともに、今後の教育活動の充実に努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



## アンケート集計結果（数字は%、質問文は児童用のアンケートのもの）

### 「確かな学力」

この項目は、本校教育活動における主に基礎的・基本的な知識・技能の習得および、探究活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現に関わる内容となります。

|                           | 低学年児童 | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 | 低学年児童     | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 |
|---------------------------|-------|-----|--------|-----|-----------|-----|--------|-----|
|                           | 高学年児童 |     | 高学年児童  |     | 高学年児童     |     | 高学年児童  |     |
|                           | そう思う  |     | 大体そう思う |     | あまりそう思わない |     | そう思わない |     |
| 学校や家庭で、楽しく学習している。         | 56    | 48  | 27     | 45  | 11        | 6   | 6      | 1   |
|                           | 52    |     | 37     |     | 7         |     | 4      |     |
| 授業がよくわかる。                 | 56    | 25  | 29     | 61  | 9         | 13  | 3      | 1   |
|                           | 49    |     | 44     |     | 6         |     | 1      |     |
| 授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いている。 | 49    | 24  | 39     | 57  | 8         | 19  | 4      | 0   |
|                           | 44    |     | 43     |     | 12        |     | 1      |     |
| めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。     | 38    | 16  | 44     | 52  | 13        | 30  | 5      | 2   |
|                           | 36    |     | 50     |     | 13        |     | 1      |     |
| 授業中、自分から進んで発表している。        | 54    | 25  | 27     | 41  | 12        | 30  | 7      | 4   |
|                           | 30    |     | 31     |     | 27        |     | 12     |     |

|                      |    |    |    |    |    |    |   |    |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|---|----|
| 家庭学習や宿題を自分から進んでしている。 | 44 | 30 | 35 | 43 | 16 | 20 | 5 | 7  |
|                      | 51 |    | 25 |    | 21 |    | 2 |    |
| 本をよく読んでいる。           | 45 | 28 | 23 | 24 | 25 | 38 | 7 | 11 |
|                      | 37 |    | 33 |    | 21 |    | 9 |    |
| 忘れ物なく自分で学習の準備ができている。 | 51 | 32 | 36 | 47 | 10 | 18 | 3 | 4  |
|                      | 35 |    | 46 |    | 12 |    | 7 |    |



### 『授業がよくわかる。』『家庭学習や宿題を自分から進んでしている。』

『授業がよくわかる』の項目では、低学年は84%、高学年は93%と比較的高評価でした。一方で、「あまりそう思わない」と答えている児童が1割ほどおり、保護者の方も同様の傾向を示しています。個に応じた支援やふり振り返り活動の充実が今後の課題です。

具体的には、授業のめあてや学習の見通しを明確にし、「何を学ぶのか」を分かりやすく示したり、授業の終わりに振り返りの時間を設け、「分かったこと」「まだ分からないこと」を整理できるようにします。また、学級の発達段階に応じて「ペア学習」や「グループ学習」を取り入れ、友だち同士で考えを伝え合いながら理解を深めるような場を設定します。そして、家庭学習と授業内容をつなげ、学んだことを繰り返し確認できる機会を増やす必要があります。

『家庭学習や宿題を自分から進んでしている。』の項目では、保護者・児童ともに評価がやや低めでした。学校での学習意欲に比べると、家庭学習への主体性は課題として残っています。家庭と連携しながら学習習慣の定着を図る必要があります。今後は、自分で学習内容や方法を考える機会を増やし、達成感を味わいながら学習習慣を定着できるよう、家庭と連携して取り組んでまいります。

特に今回の結果を見ると、「学習内容が難しい」よりも「自分から進んで取り組む」が課題であり、“量を増やす”ではなく“主体性を育てる”という意図のもと、学習の目的や意義を児童に分かりやすく伝え、主体的に取り組む意識を育んでいけるよう教育活動の充実に努めてまいります。4月に「自学自習のすすめ」を配信しましたが、漢字や計算だけでなく、調べ学習や読書など、自分で選んで取り組める学習をこれからも一層充実を図ります。毎年夏休み明けに行っています「生活ふりかえり週間」では、スマートフォンの使用や動画の視聴、テレビゲームなどに一日2時間近い、もしくはそれ以上の時間を割いているという結果も見られています。家庭における時間の過ごし方を見直すことで学習する時間を確保し、学習習慣が身につけていけるよう、家庭と連携を図っていきたいと思います。

『本をよく読んでいる。』

低学年児童、高学年児童、保護者と3者共通で比較的低い評価でした。今年度の大きな課題の一つです。特に高学年で読書離れの傾向が見られ、学校図書館の活用や読書活動の充実が必要です。

読書は読解力や語彙力だけでなく、想像力や思考力を育てる上でも重要です。児童が「読まなければならない」ではなく、「読みたい」と思える環境づくりが必要です。朝読書や隙間時間を活用し、本に親しむ時間を確保する。花園小学校では、一年間に三回「読書週間」を設定しており、図書委員会によるおすすめ本紹介や図書館ボランティアさんや講の方を招いての読み聞かせなど、さまざまな読書イベントを実施しています。また、11月には「たてわり読書交流会」があり、たてわりグループの児童同士で本を紹介し合う機会を設けています。

読書のイベントだけでなく、毎朝の「朝読書」の時間を積み重ねたり、学級文庫や学校図書館の蔵書を充実させたりと、多様なジャンルの本に触れられるようにしたいです。また、タブレットや映像メディアに偏りがちな生活を見直し、家庭でも読書時間を意識的に確保していただくよう呼びかけていきたいです。

読書習慣の定着は、昨年度からの課題でもあります。児童が本に親しみ、自ら進んで読書に取り組める環境づくりを進めていくとともに、ご家庭とも連携しながら読書習慣の定着を図ってまいります。



『授業中、自分から進んで発表している。』

低学年児童・高学年児童・保護者のいずれにおいても、他の項目と比べてやや低い結果となりました。

自分の考えをもっていても、人前で発表することに苦手意識を感じる児童が少なくないことがうかがえます。一方で、多様な方法で自分の考えを表現できる力は今後ますます重要になります。発表だけを求めるのではなく、一人一人が安心して意見を伝えられる環境づくりが必要です。

いきなり全体の前で発表するのではなく、「一人 → ペア → グループ → 全体」と段階的に考えを伝える場を設定していきます。また、授業の中で「自分の考えを書く時間」を確保し、発表への自信につなげたいです。そして、学級会や係活動など、普段から自分の意見を伝える“経験”を積み重ねるよう意図的に場の設定を行います。また、「正解を発表する」のではなく、「自分の考えを交流する」という授業づくりを進めていきたいです。発表の結果だけでなく、「伝えてみようとする姿勢」を大切にしながら、自己表現力の向上を目指していきます。

「豊かな心」

この項目は、本校教育活動における、主に道徳教育の充実、規範意識の育成、支え合い、高め合う集団づくりの推進と絆づくりに関わる内容となります。

|                                     | 低学年児童 |    | 保護者    | 低学年児童 |           | 保護者 | 低学年児童  |   | 保護者 |
|-------------------------------------|-------|----|--------|-------|-----------|-----|--------|---|-----|
|                                     | 高学年児童 |    |        | 高学年児童 |           |     | 高学年児童  |   |     |
|                                     | そう思う  |    | 大体そう思う |       | あまりそう思わない |     | そう思わない |   |     |
| 自分から進んであいさつ<br>ができています。             | 44    | 20 | 27     | 51    | 18        | 25  | 11     | 4 |     |
|                                     | 56    |    | 31     |       | 10        |     | 3      |   |     |
| こまったことがあれば、周<br>りの人に相談している。         | 53    | 25 | 34     | 59    | 8         | 14  | 5      | 2 |     |
|                                     | 46    |    | 30     |       | 16        |     | 8      |   |     |
| 家で学校であったできごと<br>をお家の人に話している。        | 45    | 31 | 32     | 65    | 12        | 4   | 11     | 0 |     |
|                                     | 57    |    | 19     |       | 17        |     | 7      |   |     |
| 自分には良いところがあ<br>ると思う。                | 53    | 25 | 31     | 56    | 7         | 19  | 9      | 0 |     |
|                                     | 45    |    | 24     |       | 21        |     | 10     |   |     |
| 難しいと思うことにも失敗<br>をおそれず挑戦している。        | 56    | 18 | 28     | 53    | 10        | 25  | 6      | 4 |     |
|                                     | 39    |    | 42     |       | 17        |     | 2      |   |     |
| 学級や学年の仲間と学校<br>で仲良く過ごしている。          | 66    | 52 | 28     | 44    | 4         | 4   | 2      | 0 |     |
|                                     | 75    |    | 23     |       | 1         |     | 1      |   |     |
| 係や掃除・給食当番の仕<br>事に責任をもって取り組ん<br>でいる。 | 75    | 19 | 22     | 51    | 3         | 25  | 0      | 6 |     |
|                                     | 63    |    | 34     |       | 2         |     | 1      |   |     |
| 学校の物や勉強道具を大<br>切にしている。              | 65    | 16 | 28     | 57    | 4         | 24  | 3      | 3 |     |
|                                     | 57    |    | 35     |       | 7         |     | 1      |   |     |

『こまったことがあれば、周りの人に相談している』

『困ったことがあれば周囲の人に相談している』の項目では、低学年に比べて高学年で評価がやや低くなる傾向が見られました。

成長とともに悩みの内容が複雑になり、自分だけで解決しようとする児童も増えていると考えられます。今後は、教育相談の充実や日常的な対話の機会を大切にしながら、児童一人一人が安心して相談できる環境づくりを進めていきます。また、家庭との連携を深め、子どもたちの小さな変化にも丁寧に対応してまいります。

近年重視されている“SOSを出す力（援助希求能力）”というものがあります。SOSを出す力を育てるには、道徳や学級活動で相談することの大切さを学ぶ機会をつくったり、実際の場面を想定して「誰に」「どのように」相談するのかを考える活動を行ったりと、教育活動の中での積み重ねが必要です。また、一人で抱え込まないことも大切な力であることを伝えていくことも挙げられます。

学校と家庭が同じ方向で子どもを支援できる体制を整えていきたいので、保護者の方も様子が気になるときは学校へ相談してください。

『学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている』

低学年児童に関しては94%、高学年児童に関しては98%と、肯定的な回答をした児童が大変多くみられています。

花園小学校は、アンケート実施時の全校児童数が198名で、1年生以外単級の規模の学校です。だからこそ学級や学年、学校全体での関わりが濃く、この結果につながっていると考えられます。また、異年齢で構成された「たてわり活動」や登校班など、さまざまな活動において学年を超えた関わりの場面を多く取り入れています。特に「たてわり活動」においては月に一度を『たてわり露ロング』と設定したり、1学期には「たてわりオリエンテーリング」を児童会の活動で行い、各たてわりグループごとに楽しい時間を過ごしました。異学年交流は、豊かな人間関係を構築したいという気持ちに繋がっていることが考えられます。本校の大きな強みの一つであり、子どもたちが安心して学校生活を送り、互いを認め合いながら過ごしている様子が見えます。今後も、一人一人の違いを尊重し、誰もが安心して過ごせる温かい学級・学校づくりを進めてまいります。

しかし、低学年でも高学年でも「あまり思わない」「思わない」を選んだ児童たちがいることも実情として挙げられる課題です。より一層花園小学校の良さである、互いに支え合い、高め合うような集団づくりを目指してまいります。



『難しいと思うことにも失敗を恐れず挑戦している。』

保護者・低学年児童・高学年児童ともに肯定的な回答が多い一方で、「そう思う」の割合は他の生活面の項目と比べるとやや低く、挑戦することへの意識には個人差が見られました。特に高学年になるにつれて、自分の力を客観的に見つめるようになり、挑戦への不安を感じる児童も見られます。

挑戦するためには、「失敗しても大丈夫」という安心感と、「やってみよう」と思える自己肯定感の両方が必要です。今回の結果からは、多くの児童が挑戦しようとする気持ちはもっているものの、「間違えることが恥ずかしい」「周り比べて自信が持てない」「失敗したから次も怖い…」と消極的になる」といった要因によって、一歩踏み出せない児童もいることが考えられます。

また、「発表する」「めあてをもって学習する」などの項目もやや低い傾向が見られることから、挑戦する姿勢は学習面全体に関わる課題であると考えられます。と「間違いは成長のチャンス」という価値観を共有したり、誤答から考える授業を取り入れて間違えた人も安心して発言できる雰囲気をつくったりと、日ごろの授業においても雰囲気づくりに努めたいです。

学校だよりや学級だよりやホームページなど、情報発信に努めていこうと思います。結果だけでなく挑戦する過程を大切にし、「やってみよう」と思える気持ちを育てていきます。また、失敗を認め合い、互いの頑張りや応援できる学級づくりを進め、児童が安心して新しいことに挑戦できる環境づくりに取り組んでまいります。

『学校の物や勉強道具を大切にしている。』

保護者・低学年児童・高学年児童のいずれにおいても高い評価が見られました。児童自身も物を大切にしているという意識をもっており、保護者からも肯定的に受け止められていることが分かり、

この結果は、本校の強みの一つであると考えられます。

教科書や学習用具だけでなく、学校の備品や共有物を大切に扱う意識が児童に身についていることがうかがえます。これは、日頃から学校で行っている生活指導や道徳教育、さらには家庭での声かけやしつけが積み重なった成果であると考えられます。

また、「物を大切に使う」という行動は、単に物を丁寧に扱うだけではなく、“自分の持ち物に責任をもつ力”“学校の共有物を大切に使う公共心”“物を大切にしてくれた人への感謝の気持ち”“物を最後まで使おうとする態度”にもつながっています。

さらに、同じ生活面の項目である「決まりを守る」「安全に気を付ける」なども高い傾向にあり、学校生活の基盤となる規範意識や責任感が育っていることがうかがえます。今後も、自分の持ち物だけでなく、学校の備品や地域の公共物も大切にしようとする気持ちを育み、感謝の心や公共心を大切にする教育活動を進めてまいります。

「健やかな体」「地域」

この項目は、保健教育・安全教育の充実、および地域への親しみや愛情に関わる内容となります。

|                        | 低学年児童 | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 | 低学年児童     | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 |
|------------------------|-------|-----|--------|-----|-----------|-----|--------|-----|
|                        | 高学年児童 |     | 高学年児童  |     | 高学年児童     |     | 高学年児童  |     |
|                        | そう思う  |     | 大体そう思う |     | あまりそう思わない |     | そう思わない |     |
| 学校や放課後、安全に気を付けて行動している。 | 57    | 30  | 37     | 57  | 5         | 11  | 1      | 2   |
|                        | 65    |     | 29     |     | 5         |     | 1      |     |
| 学校や家での決まりを守っている。       | 48    | 21  | 41     | 60  | 8         | 18  | 3      | 1   |
|                        | 45    |     | 48     |     | 6         |     | 1      |     |
| 自分や友だちの心や体を大切にしている。    | 67    | 48  | 28     | 48  | 3         | 4   | 2      | 0   |
|                        | 64    |     | 33     |     | 2         |     | 1      |     |

|                  | 低学年児童 | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 | 低学年児童     | 保護者 | 低学年児童  | 保護者 |
|------------------|-------|-----|--------|-----|-----------|-----|--------|-----|
|                  | 高学年児童 |     | 高学年児童  |     | 高学年児童     |     | 高学年児童  |     |
|                  | そう思う  |     | 大体そう思う |     | あまりそう思わない |     | そう思わない |     |
| 花園小学校の地域のことが好きだ。 | 74    | 56  | 18     | 42  | 6         | 1   | 2      | 1   |
|                  | 71    |     | 23     |     | 4         |     | 2      |     |

『学校や放課後、安全に気を付けて行動している。』

保護者・低学年児童・高学年児童のいずれにおいても高い評価が見られました。児童自身が安全を意識して行動していることに加え、保護者も子どもたちの安全意識の高まりを実感していることがうかがえます。

学校では、交通安全指導や避難訓練、防犯指導などを通して、自分の命を守るための行動について継続的に学習しています。その積み重ねによって、児童一人一人の安全意識が高まっていることが今回の結果からうかがえます。

また、本校の安全な教育環境は、学校だけの取組によるものではありません。毎日の登下校時には、“花園見守り隊”の皆様が子どもたちの安全を温かく見守ってくださっています。保護者の方の自由

記述にも、「見守り隊の方のおかげで安心して登下校できている」という声が寄せられており、地域の支えが子どもたちの安心感につながっていることが分かります。一方で、近年は交通量の増加やインターネット利用に伴うトラブルなど、安全に関わる課題も多様化しています。今後も「自分の身は自分で守る」という意識を育てながら、安全教育を継続していくことが大切です。

『自分や友だちの心や体を大切にしている。』

保護者・低学年児童・高学年児童のいずれにおいても非常に高い評価となりました。児童自身が相手を思いやる気持ちや命の大切さを意識して生活していることがうかがえるとともに、保護者の方もその成長を実感していることが分かります。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、人間関係の悩みや SNS 等によるトラブルなども増えています。そのような中で、「自分も友だちも大切な存在である」という意識が育っていることは、大変価値のある成果といえます。

この結果の背景には、本校が継続して取り組んできた人権教育や道徳教育があると考えられます。“相手の気持ちを考える学習” “違いを認め合う学習” “仲間づくり活動” “学級での話し合い活動”といった活動と併せて、「いじめを許さない」意識の定着などを通して、一人一人の人権を大切に  
する態度が育ってきているかと思えます。

また、「学級や学年の仲間と仲良く過ごしている」の項目も高い評価となっており、児童同士の良好な関係性がこの結果につながっていると考えられます。友だちを大切に思う気持ちや、困っている友だちに声をかけようとする姿勢が日常の学校生活の中に根付いていることがうかがえます。

さらに、「自分の心や体を大切にする」という視点も重要です。自分を大切にできる子どもは、相手のことも大切にしようとします。今回の結果からは、自他を尊重する意識が着実に育っていることが読み取れます。引き続き、人権学習や道徳科の授業をさせたり、学級活動やたてわり活動を通して、多様な人との関わりを広げたり、相手の立場に立って考える機会を大切にしたりと、学校教育活動全体を通して指導していこうと思います。「自分も大切、相手も大切」という考え方を日常生活の中で育てていきたいです。

「花園小学校の地域のこと好きだ。」

今年度も「アイ ラブ 花園！」を合言葉に、子どもたちが花園小学校や花園小学校地域のことを好きになるよう教育活動を進めています。昨年度までと同様、子どもたちの多くが地域の方々に温かく見守ってもらっています。結果にも表れていますが、肯定的な回答が、低学年児童に関しては92%、高学年児童に関しては94%、保護者の方に関しては98%となっています。

花園地域には、学校を支えてくださる多くの方々がおられます。毎日の登下校を見守ってくださる“花園見守り隊”の皆様をはじめ、地域行事や学校行事への協力、子どもたちへの温かな声かけなど、地域全体で子どもたちを育てていただいています。

また、児童は日々の生活の中で地域の方々と自然に関わる機会が多くあります。地域学習や校外学習、夏休み中のパトロールなどを通して、「地域の人に見守られている」「地域の一員として大切にされている」という実感を積み重ねてきました。こうした経験が、花園地域への愛着や誇りにつながっていると考えられます。

地域とのつながりが希薄になりつつある社会の中で、子どもたちが地域に愛着をもち、「これからも大切にしたい」と感じていることは、本校の大きな財産であるといえます。



自由記述より

- ・入学前は友だちができるかすごく不安そうでしたが、学校に行くことが楽しいようで、朝も「早く行きたい!」と言っています。いつもありがとうございます。
- ・入学前は、近年の小学校とはどういうところなんだろうと心配もしていましたが、始まってみると花園小学校でよかったと思うところが多く、安心して通わせています。子どもが学習内容や座って行う活動に興味を持てるよう家庭でもできることがあればアドバイスをいただけると助かります。
- ・運動会で正面に演技の発表があったり、徒競走のゴールだったりとする場合が多いですが、本部テントなどがあって中々正面から見られないことがあります。演技の向きやテントの位置について検討していただきたいです。
- ・給食当番が毎年 A グループスタートなので均等にしてもらえたら助かります。
- ・見守り隊の方々のおかげで安心して登下校できています。
- ・先生や地域の方々のおかげで元気に楽しく安全に通えています。
- ・担任の先生に感謝しかありません。手厚く見てくださって信頼しています。

みなさまからいただいた貴重なご意見につきましては、全て拝読し、今後の参考とさせていただきます。なお、紙面の都合上、自由記述欄にご記入いただいた一部の掲載となりましたことを了承いただきますようお願い申し上げます。



以上、前期学校評価について、各項目の分析を行いました。アンケート結果につきましては、学校評価委員会および教職員で分析を行い、今後の本校教育活動の改善につなげて参ります。

日々の家庭での声かけや生活習慣の定着、学校行事への積極的なご参加など、児童の健やかな成長に欠かせない力となっております。今後も、学校と家庭が連携しながら、よりよい教育環境の構築に努めていきたいです。

**12月の学校評価アンケート(後期)もご協力よろしくお願いいたします。**